

大阪情報コンピュータ専門学校 授業シラバス (2020年度)

専門分野区分	パソコン活用	科目名	EXCELIII	科目コード	T1580E1
配当期	前期・ <u>後期</u> ・通年	授業実施形態	<u>通常</u> ・集中	単位数	1単位
担当教員名	坂本 有美	履修グループ	2I(BI/BO)	授業方法	演習
実務経験の内容	酒造メーカーにて総務、営業事務として従事する。国内大学・海外留学予備校で一般事務経験を経て、派遣会社の専属 OA インストラクターとして勤務。その間、Excel でのデータ作成、受講者管理、Word、PowerPoint、Access 等を使用し業務をおこなう。本 Excel の応用的な機能を実務での活かし方について説明をまじえながら講義する。				
学習一般目標	1 年前後期、2 年生前期に学習した「EXCEL I II」をベースに、グラフ、関数、ピボットテーブルを用いて、応用的な機能と操作方法を学ぶ。 ビジネスの現場で起こる問題の原因究明、解決のための対応策の策定、マーケティング、在庫管理、価格決定など、ビジネスシーンで必要となるデータ分析の基礎、統計学を Excel で学習する。 MOS 試験(一般、応用)合格を目指す。				
授業の概要および学習上の助言	<ul style="list-style-type: none"> 教科書を活用した実習 問題集を活用した練習 				
教科書および参考書	Excel で学ぶ統計解析本格入門、練習プリント 等				
履修に必要な予備知識や技能	Microsoft Excel2016 (基礎・応用)				
使用機器	PC 実習室				
使用ソフト	Excel2016				
学習到達目標	学部DP(番号表記)	学生が達成すべき行動目標			
	1	各専門職業分野において必要な実践的な専門的知識・技術を修得し、ものづくりやシステムづくりに活用できる。(知識・理解)			
	3	豊かな人間性・創造性を持ち、社会人として、技術を社会に役立てることができる。(態度)			
	5	社会人として、専門的知識・技術を修得するために、自ら継続的に学習し、キャリアを形成できる。(関心・意欲)			

達成度評価	評価方法	試験	クイズ 小テスト	レポート	成果発表 (口頭・実 技)	作品	ポート フォリ オ	その他	合計	
	総合評価割合			60				40	100	
	学 部 D P	1.知識・理解			40					40
		2.思考・判断								
		3.態度								
		4.技能・表現			20				20	40
5.関心・意欲								40	40	
評価の要点	評価方法	評価の実施方法と注意点								
	試験									
	クイズ 小テスト									
	レポート	課題作成、課題提出								
	成果発表 (口頭・実技)									
	作品									
	ポートフォリオ									
	その他	授業態度、出席								

総合情報学部 DP

- 各専門職業分野において必要な実践的な**専門的知識・技術**を修得し、ものづくりやシステムづくりに活用できる。**(知識・理解)**
- 変化する社会・産業界の要請に対応し、**問題解決**のために、多面的な観点から自立的かつ論理的な判断を行うことができる。**(思考・判断)**
- 豊かな人間性・創造性**を持ち、**専門職業人**として、**技術を社会に役立てることができる**。**(態度)**
- 情報化・国際化に対応する基礎能力を持ち、インターネットなどの情報通信技術(ICT)を活用しながら、自らの考えを論理的に説明し伝達することができる。**(技能・表現)**
- 社会人**として、**専門的知識・技術を修得するために、自ら継続的に学習し、キャリアを形成できる**。**(関心・意欲)**

授業明細表

回数・日付	学習内容	運営方法	学習課題 (予習・復習)
第1週	<p>CHAPTER01 統計学でデータの目利きを養う</p> <p>01 なぜ、今、統計学を学ぶ必要があるのか</p> <p>02 そもそも「データ」とは何か</p> <p>03 本書の構成</p> <p>CHAPTER02 データの全体像をつかむ</p> <p>01 データを区分けする</p>	講義・パソコンを用いた実習	
第2週	<p>02 抜群のバランス感覚を誇る平均値を求める</p> <p>03 じっくりこない平均値の正体</p> <p>04 データの真ん中を知る</p>	講義・パソコンを用いた実習	
第3週	<p>05 データの多数派を知る</p> <p>06 データの全体像をフリーハンドで描く</p>	講義・パソコンを用いた実習	
第4週	<p>07 データの散らばり具合を知る</p> <p>08 ものさしの違うデータ同士を比べる</p>	講義・パソコンを用いた実習	
第5週	<p>CHAPTER03 データ同士の関係をつかむ</p> <p>01 2種類のデータの意外な関係</p> <p>02 手持ちのデータを使って予測値を求める</p>	講義・パソコンを用いた実習	
第6週	<p>03 売上に影響を与えている要因を探る</p> <p>04 来店者の特徴を知る</p>	講義・パソコンを用いた実習	
第7週	<p>05 総合評価のないアンケートのゆくえ</p> <p>06 データに白黒をつける</p>	講義・パソコンを用いた実習	
第8週	<p>CHAPTER04 全数データと一部データの関係をつかむ</p> <p>01 少ないデータから本物の平均を知る</p> <p>02 少ないデータから本物のばらつきを知る</p>	講義・パソコンを用いた実習	
第9週	<p>03 ピックアップしたデータの全体像を知る</p> <p>04 もう一つの散らばりを知る</p>	講義・パソコンを用いた実習	

回数・日付	学習内容	運営方法	学習課題 (予習・復習)
第10週	CHAPTER05 データの形を知る 01 やってみるまでわからない 02 山の形をしたデータ分布	講義・パソコンを用いた実習	
第11週	03 標準の山 04 親戚の山々	講義・パソコンを用いた実習	
第12週	CHAPTER06 少ない情報で全体を推定する 01 高い信頼度で平均値を言い当てる 02 データが少ししかなくても平均値を言い当てる	講義・パソコンを用いた実習	
第13週	03 点数のばらつきを推定する 04 新製品の購入比率を推定する	講義・パソコンを用いた実習	
第14週	CHAPTER07 偶然と必然の分かれ道 01 本音は別にある 02 リニューアルで売上は伸びたのか 03 内容量のばらつきに差はあるのか	講義・パソコンを用いた実習	
第15週	04 平均に差はあるのか 05 シェアは伸びたのか 06 給料は上がったのか		